

空き店舗をコワーキングスペースとして活用している事例

1Fは「三福」という中華料理店、2Fは木造アパートとして使っていた築50年の古い物件をリノベーションしました。

今は、1Fはイベントスペース・ギャラリー、2Fはコワーキングスペース（シェアオフィス）と空き家・空き店舗の活用に関与する不動産会社の事務所となっています。

場所:小田原市栄町地内



【リノベーション前の様子】

きっかけ

当初、商店街の空き店舗をリノベーションして、アートやサブカルチャー、社会起業など、「地域でクリエイティブに何かしようとする人たちが」集まれる場所を作ろうと考え、安く借りられる場所を探していました。

その際、縁があって今の場所を借りられることになりました。



物件の魅力

2Fの内廊下など古くて趣があり、小田原駅から約7分と近く、また、商店街の中にあり周辺のお店から仕事を頼まれるなど、地域コミュニティの中に上手く受け入れてもらえました。



PR

駅周辺は家賃が高いが、少し離れた空き家・空き店舗は家賃の安いところが多く、何か始めるにしてもリスクを小さく始めることができ、古い物件には、当時のモダンな意匠が凝らされていて、素敵なお店が多いです。

活用にあたって

改装にお金をかけられなかったため、友人に手伝ってもらうなど出来るところは自分達でリノベーションして、一部プロの大工さん達に携わってもらい、感じの良い空間が出来ました。

